

県国民健康保険課コーナー



最近の主な取組みについて

令和2年度の都道府県国保ヘルスアップ支援事業については、新たに以下1～3の事業を岐阜県国民健康保険団体連合会へ委託し実施しております。新型コロナウイルス感染症の影響により、一部スケジュールに遅れが生じていますが、随時情報提供を行ってまいります。

1 成人・高齢者の口腔健診結果を活用したオーラルフレイル対策推進事業について

- 成人・高齢者の口腔機能低下予防の元となる、データ活用の取組みとして、口腔内と体の相関関係等の傾向を把握し、より効果的なオーラルフレイル対策に向けた事業を実施します。
- モデル市町村として可見市を選定し、市が保有する口腔健診結果及びKDBデータを突合、口腔内と体の相関関係等のデータ傾向読み取りを実施します。低栄養及び口腔に関する分析結果について効果・課題等を整理し、関係者等（県歯科医師会、可見市歯科医師会、朝日大学）へ提供、口腔機能の維持・向上、全身疾患の予防に活用していきます。
- 今年度はデータを分析するための基礎として、健診結果のデータ化に関する現状と課題、事業効果など関係者会議等を通して意見収集をし、次年度に向けた検討を行います。

2 KDBシステムを活用した保健事業介入支援管理事業について

- 平成29年に岐阜県糖尿病性腎症重症化プログラムが策定され、市町村において取組みが進められているところですが、取組みを進めるうえで、事業実施前後の評価を効率的・効果的にできるよう、KDBシステムの「保健事業介入支援管理事業」メニューを活用した環境整備を行います。
- 健診情報、医療情報及び受診情報をもとにデータ分析に基づく事業評価の促進のため、対象者へのアプローチ方法と実施数などの事前調査を実施し、保険者ごとの方法や課題などを把握、好事例の横展開及びシステムの利活用方法について研修会を通して市町村に説明する予定です。

3 重複受診者・重複服薬者への訪問指導事業について

- 医療費適正化及び被保険者の健康増進の両面から、保険者が実施する訪問や電話での相談などの事業の推進のため、重複受診者・重複服薬者に対する支援マニュアルの作成を進めます。
- 対象者の選定・勧奨方法、指導・助言及び指導結果の活用・評価方法を具体的に示し、市町村が事業実施するにあたっての支援となるよう、県内市町村へのマニュアルの配布を行います。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修・会議等がWEB会議形式や資料送付等になることがありますが、ご理解ご協力をお願いします。